

# 基本要件

- 発行日 2011年6月
- 次回発行予定 2012年6月
- 作成部署 DOWA ホールディングス CSR 部門
- HP アドレス <http://www.dowa.co.jp/index.htm> (日本語)  
<http://www.dowa.co.jp/english/index.htm> (英語)
- お問い合わせ DOWA ホールディングス広報部門  
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原 UDX ビル 22 階  
TEL: 03-6847-1106 FAX: 03-6847-1272 メール: info@dowa.co.jp

○以下の資料をホームページからご覧いただけます。

- ・決算説明会資料
- ・有価証券報告書
- ・インベスターズガイド
- ・アニュアルレポート

[http://www.dowa.co.jp/jp/ir/library\\_note.html](http://www.dowa.co.jp/jp/ir/library_note.html)



Web 版 CSR 報告書 <http://www.dowa-csr.jp>

## 対象組織

DOWA エコシステム	エコシステム花岡(株)	DOWA メタルテック	DOWAメタル(株)		
	エコシステム山陽(株)		DOWAパワーデバイス(株)		
	エコシステム秋田(株)		DOWAハイテック(株)		
	エコシステム千葉(株)		新日本プラス(株)		
	(株)エコリサイクル		豊栄商事(株)		
	同和通運(株)		DOWAメタニクス(株)		
	エコシステムジャパン(株)	DOWA サーモテック	DOWAサーモエンジニアリング(株) 真岡工場		
	ジオテクノス(株)		DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松工場		
	イー・アンド・イー ソリューションズ(株)		DOWAサーモエンジニアリング(株) 豊田工場		
	エコシステムリサイクリング(株)		DOWAサーモエンジニアリング(株) 滋賀工場		
	アクトビリーサイクリング(株)		DOWAサーモエンジニアリング(株) 半田工場		
	エコシステム岡山(株)		(株)セム		
	グリーンフィル小坂(株)	DOWAサーモエンジニアリング(株) 太田工場	DOWA ホールディングス	卯根倉鋳業(株)	
	エコシステム小坂(株)	DOWAテクノエンジ(株)		海外事業所	NIPPON PGM AMERICA, INC.
	オートリサイクル秋田(株)	東京本社			蘇州同和資源综合利用有限公司
	メルテック(株)		同和金属材料(上海)有限公司		
DOWA メタルマイン	秋田レアメタル(株)	DOWA THT AMERICA, INC.			
	秋田製錬(株)	Bangpoo Environmental Complex Co.,Ltd.			
	秋田ジーンソリューションズ(株)	Eastern Seaboard Environmental Complex Co.,Ltd.			
	小坂製錬(株)	Technochem Environmental Complex Pte. Ltd.			
DOWA エレクトロニクス	(株)日本ピージーエム	P.T. Prasadha Pamunah Limbah Industri			
	DOWAエレクトロニクス岡山(株)				
	DOWAセミコンダクター秋田(株)				
	DOWA IPクリエイション(株)				
	DOWAエフテック(株)				

# 第三者意見

DOWA CSR報告書2011

株式会社イースクエア代表取締役

ピーター デイヴィッド ピーダーセン

Peter David Pedersen



## プロフィール

1967年デンマーク生まれ。95年コペンハーゲン大学文化人類学部卒業。企業コンサルタントとして、環境経営コンサルティングや国際シンポジウムの開催などを行う。2000年9月、CSR・環境コンサルティングを手がける株式会社イースクエアを設立し、代表取締役社長に就任。戦略、コミュニケーション、教育、マーケティング、事業開発などの分野で企業を支援。CSR分野におけるグローバルでの知見、企業のビジョンを引き出すファシリテーション能力を生かし、グローバル企業に対し、戦略的コンサルティングを行う。

## CSR 報告書 2011 報告内容について

循環型社会へのDOWAグループのコミットメント、および事業を通じた貢献と進捗状況が一望できる報告書となっています。環境マテリアルフローや環境経営、外部経済効果など、数値データを含む経年の活動成果報告がなされていると同時に、社会背景や技術についての読者に配慮した説明、各事業の特性・特徴、現場の担当者の声などにより、一般的に馴染みの薄いリサイクル技術や素材に関する理解を促進する構成と内容です。

DOWAグループが長年培ってきた技術、ノウハウ、システムも、日々の改善に向けた地道な取り組みと、既存のものに縛られず新たなことへ挑戦する精神によって積み上げられたことが感じられます。

## さらなる改善に向けて

「環境」を軸として、DOWAグループの本業を通じた社会への貢献と事業の発展が形成されていることは素晴らしいことですが、報告書の中で使われているCSR経営と環境経営のそれぞれの定義と位置づけが不明確な印象を受けます。特にCSR経営は、環境以外の側面である社会課題をDOWAグループとしてどのように捉え、どういった全体像と優先順位のもとに取り組みを進めるかという方向性、および管理推進体制を明確に示していくことが求められます。トップメッセージにもある通り、企業の総合的な対応力を形成するためにも社員の皆さんにとって働き甲斐があり、個々の強みや個性が活きる職場環境づくりが重要となります。研修やワーク・ライフ・バランスに関連する制度など、制度構築は進んでいるように見受けられますが、それらの制度がより多くの社員の方々に活用され、多様性を重視する企業風土として定着させていくことが次の課題となるでしょう。また人権に関する方針や取り組みの説明は、今後さらにグローバル企業に求められるところです。

## 今後の取り組みへの期待

DOWAグループの事業のグローバル化が急速に進む中、次に最も期待したいのは、企業としての真のグローバル化です。世界の循環型社会実現に向けて、DOWAグループの役割と社会からの期待はますます増大します。DOWAグループの環境・リサイクル技術力やきめ細やかな管理能力を発揮していただくとともに、他業種や外部ステークホルダーとの積極的な協働による取り組みの拡大、より広域なりサイクルシステムの構築などにおけるリーダーシップを期待しています。